

事業年度

1月1日～12月31日

期末配当金受領株主確定日

12月31日

中間配当金受領株主確定日

6月30日

定時株主総会

毎年3月

株主名簿管理人、特別口座の口座管理機関

三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

〒137 - 8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号

お問合せ先：0120-232-711

上場証券取引所

東京証券取引所JASDAQ市場

公告の方法

電子公告により行う

公告掲載URL <http://www.convum.co.jp>

(ただし、電子公告によることができない事故、その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

ご注意

1. 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

ホームページのご案内



<http://www.convum.co.jp>

当社では、ホームページにてIR情報をはじめとして、企業情報を随時更新しております。ぜひご覧ください。

株式会社 **妙徳**
Myotoku Ltd.

〒146-0092 東京都大田区下丸子2丁目6番18号
TEL 03-3759-1491 (代表)



株式会社 **妙徳**
Myotoku Ltd.

証券コード TSE : 6265

第65期 事業報告書

2015年1月1日～2015年12月31日

人を大切にし、創造性豊かなアイデアと顧客ニーズの融合により豊かな価値を作り出し、社会貢献に努めます。

妙徳グループ



企業理念

- お客様を大事にする
- 最適な労働環境の整備を通じて従業員一人一人が安心して働ける職場作り
- 各人のアイデアと顧客ニーズの融合による開発をモットーとする
- 他社との提携を推進し、これにより得られた利益は分け合う
- ガラス張りの経営
- 職場内のコミュニケーション(報・連・相)の重視
- 仲間同士が信頼しあう職場作り

「コンバム・パッドNo.1」をスローガンに、魅力ある製品づくりを通じて、社会から信頼される企業、継続的な企業成長を目指してまいります。

ごあいさつ

株主のみなさまには、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。また平素から格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに、第65期（2015年1月1日～2015年12月31日）の事業概況を謹んでご報告いたします。

代表取締役社長 伊勢 幸右



Q1 第65期の業績についてご説明ください。

国内においては、スマートフォン向け電子部品業界の需要が堅調に推移いたしました。半導体製造装置業界の需要が減速したことなどにより、売上高は1,332百万円（前年同期比100.1%）となりました。

海外においては、連結海外売上高は1,112百万円（同107.0%）となり、海外売上高比率は45.5%となりました。韓国市場では、半導体製造装置業界、太陽光パネル業界へのコンバムの新機種投入などによる拡販活動を推し進めてまいりました。また、現地調達率の拡大により、コストダウン及び製品供給体制の強化も図った結果、売上高は558百万円（同125.9%）となりました。中国市場では、成長鈍化による景気減速懸念がありましたが、新規スマートフォン関連設備向けへの拡販に努めたことなどにより、売上高は269百万円（同106.1%）となりました。東南アジア市場では、タイ国を中心に、東南アジア市場への拡販活動を推し進めてまいりましたが、売上高は87百万円（同91.9%）となりました。

この結果、第65期の業績につきましては、連結売上高は2,444百万円（同103.1%）となりました。利益面については、連結経常利益は446百万円（同110.3%）、連結当期純利益は244百万円（同104.1%）となりました。

Q2 今期の見通しと、主な取り組みについてお聞かせください。

2016年12月期の連結業績予想は、連結売上高2,534百万円、連結経常利益366百万円、連結当期純利益235百万円を見込んでおります。これらの目標を達成するため、顧客満足度の更なる向上を目指した取り組みを進めてまいります。

営業面においては、人員を増員し営業体制の強化を図るとともに、展示会への積極出展、マーケティング力の強化を行ってまいります。また、各国市場



でのニーズに合った製品展開を行い、売上高シェアの拡大を目指してまいります。産業用ロボット市場については、人件費の上昇、作業人口の減少や製品品質の安定化を背景に、省人化、自動化ニーズは依然として高い需要への期待が持てます。この市場において当社は、得意分野である真空吸着搬送の技術

力、商品開発力を活かして、産業用ロボットのハンド分野に注力した営業活動を展開します。今期も引き続き、お客様のご要望に答える付加価値の高い製品の開発、ご提案を行い、需要の獲得を目指してまいります。

また、昨年9月、新たに北米市場開発室を設立いたしました。本年は、駐在拠点の設置、展示会への出展を計画しており、北米市場で事業を確立するための取り組みを、スピードを上げて進めてまいります。

製造面においては、引き続き、生産性向上の取り組みを進めてまいります。製造工程の自動化や生産管理システムの入れ替え、機能拡張を行い、生産効率と業務効率の向上を図り、安定した品質、価格競争力の強化および納期対応力の強化に努めます。品質面においては、今期新たに、妙徳韓国に品質保証部の新設を検討しており、グローバルな品質管理体制の構築により、引き続き高い品質の維持向上に努めます。

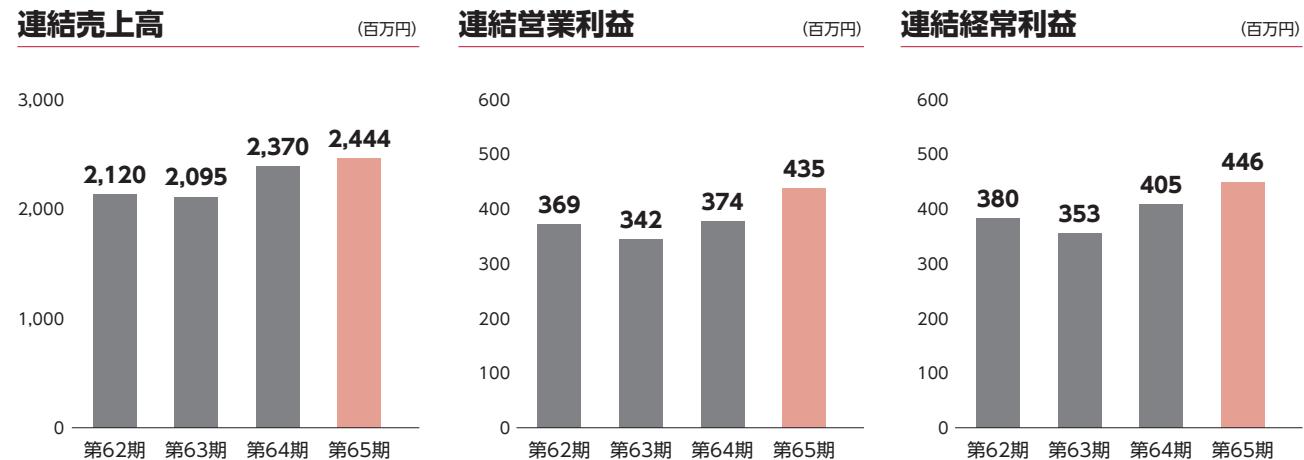
Q3 最後に株主の皆様へメッセージをお願いいたします。

妙徳グループは、株主の皆様ならびにステークホルダーの方々のご期待に応えるため、今後とも、持続的に成長する企業を目指し、企業価値の向上に努めてまいります。

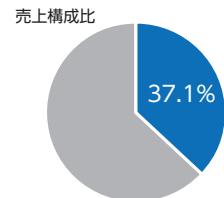
株主の皆様への利益配分につきましては、業績に応じた株主還元を基本方針とし、連結配当性向25%を目標としております。

このような方針のもと、第65期の配当につきましては、中間配当金を1株あたり3円50銭、期末配当金は1株あたり5円50銭（年間9円00銭）とさせていただきますので、何卒ご了承賜りますようお願い申し上げます。

株主の皆様におかれましては、末永くご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

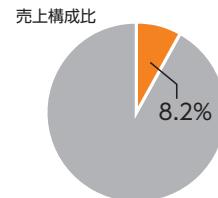


コンバム 売上高 9億7百万円



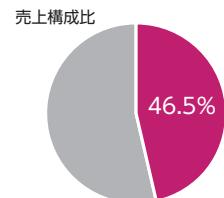
韓国市場において、半導体製造装置業界への新機種投入による既存顧客の深耕と新規顧客開拓に努めるとともに、中国市場でのスマートフォン関連装置への需要獲得等の取り組みに努めた結果、当期の連結売上高は907百万円となりました。全製品に占める売上高構成比は、吸着パッド、FA機器その他の売上高構成比が上昇したことにより37.1%となり、前年同期比0.9ポイント低下いたしました。

圧力センサ 売上高 2億1百万円



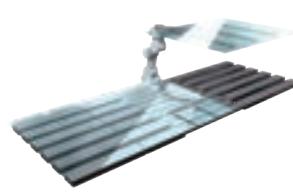
主要顧客業種である半導体製造装置業界において、期の前半は国内外ともに需要の改善がみられ堅調に推移いたしましたが、期の後半に入り一部需要が減速したこと等により、当期の連結売上高は201百万円となりました。また、売上高構成比は8.2%となり、前年同期比0.1ポイント低下いたしました。

吸着パッド 売上高 11億3千5百万円



韓国市場における新規設備に対する需要への獲得取り組み、最終ユーザーの機械稼働率の向上による保守メンテナンス用製品の需要増加等により、当期の連結売上高は1,135百万円となりました。売上高構成比は46.5%となり、前年同期比0.9ポイント上昇いたしました。

FA機器その他 売上高 1億9千9百万円

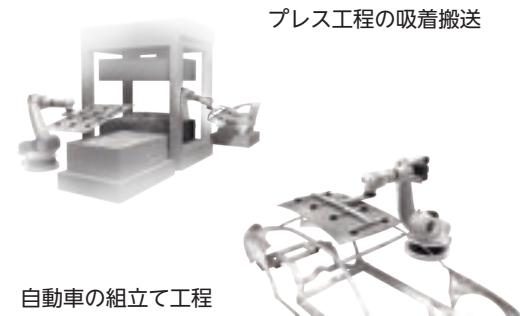


空気圧機器および真空ポンプ等の一般設備機器は、他の製品群同様、需要に改善がみられました。液晶パネル関連業界でのエア浮上ユニット（CONFLOAT）の需要獲得等に取り組み、当期の連結売上高は199百万円となりました。売上高構成比は8.2%となり、前年同期比0.1ポイント上昇いたしました。

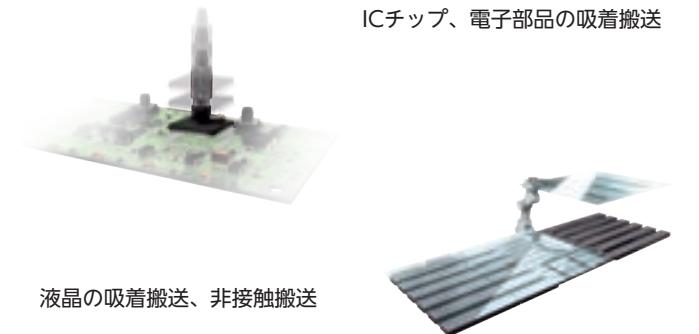
**妙徳の製品や技術は様々な産業の生産現場で活躍
生産の自動化と品質の向上に貢献しています!!**

当社の製品は、FA（ファクトリーオートメーション）機器として、様々な業種の製造工程や製造装置に組み込まれ、ご使用いただいています。主要製品である、コンバム（真空発生器）は、圧縮空気を利用して真空を発生させ、その真空を利用して吸着パッドを使用し、ワーク（吸着物）を持ち上げます。その使用事例の一部をご紹介します。

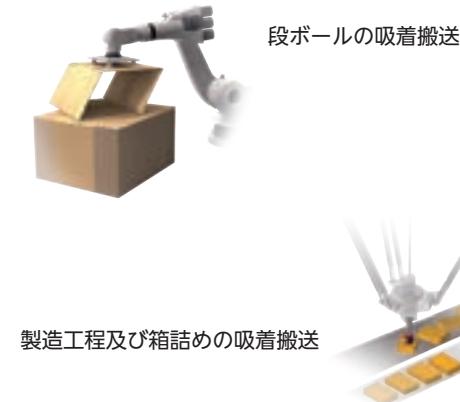
自動車産業



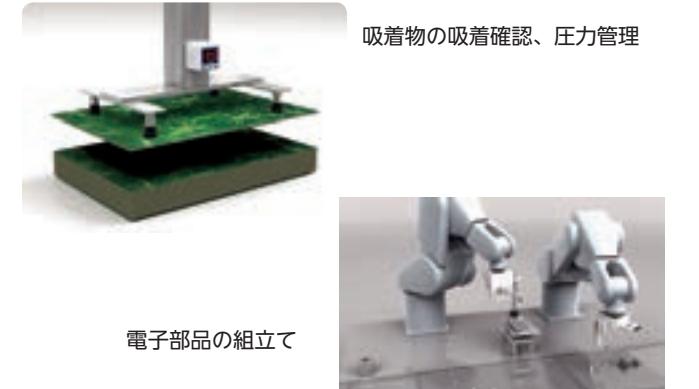
半導体産業



梱包・包装産業



その他の産業



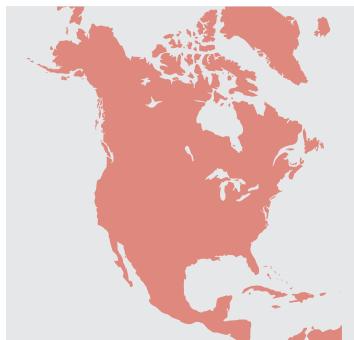
トピックス1 北米市場開発室の設立

北米地域では、従来、販売代理店を通じての販売促進活動を行ってまいりましたが、アジアと同等の需要が見込める北米市場での営業活動を強化するため、2015年9月に「北米市場開発室」を設立いたしました。

すでに北米地域の市場調査を開始しており、2016年には市場調査結果を元に拠点の設置、展示会への出展を行い、新規顧客開拓のための拡販活動と、より顧客に密着した販売網の構築を行ってまいります。

今後はさらに、2017年での現地法人の設立も視野に入れ、営業体制を強化し、北米市場向け新製品を投入し、営業活動を行ってまいります。

今まで以上に海外で「CONVUM」ブランドの知名度とブランド力を高める取り組みを行ってまいります。



トピックス2 韓国子会社設立10周年

当社の韓国子会社 CONVUM KOREA CO.,LTD. (以下、妙徳韓国) は会社設立10周年を迎えました。

妙徳韓国は、当社グループにおいて、韓国市場での販売活動を担う営業拠点としてスタートいたしました。2011年には、金具付きパッドの加工および組立て、その後にはコンバム製品の組立てを開始し、韓国市場での地産地消体制を構築し、その製品供給力、納期対応力により、順調にシェアを伸ばしてまいりました。

今日に至るまでには、リーマンショックによる経済危機、現地の安価な模倣品が市場シェアを拡大するなど、様々な困難もありましたが、お客様からのご支持のおかげをもちまして、無事10周年を迎えられたものと感じております。

今後は、妙徳韓国に開発部を設置し、今まで以上にお客様のニーズに応える製品の開発力と営業力を強化して、より一層の発展を目指してまいります。



■10周年セレモニーの様子

CONVUM KOREA CO.,LTD.の概要

資本金：1億ウォン

従業員数：21名

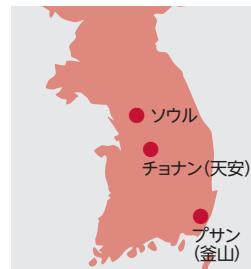
(2015年12月31日現在)

所在地：

ソウル市 (本社、営業拠点)

チョナン市 (営業、製造拠点)

プサン市 (営業拠点)



トピックス3 展示会への積極出展

各国市場でのブランド認知度の向上、売上シェアの拡大を図るため、昨年に引き続き国内外の展示会に積極的に出展いたしました。2015年は、日本国内で5回、中国5回、韓国2回と様々な展示会へ出展いたしました。出展ブースには、多くのお客様にご来場いただき、当社の製品や技術をPRいたしました。

また、展示会への出展のほか、取引先でのプライベート展示会、製品勉強会を積極的に開催し、今後もより一層、当社の製品を紹介する機会を設け、積極的な営業活動を行ってまいります。



トピックス4 大阪ショールームオープン

2015年7月、大阪営業所を移転するとともに、あわせて大阪ショールームをオープンいたしました。ショールームは、東京都の矢口ショールーム、岩手事業所内ショールームに続き3ヶ所目で、西日本エリアでは初の開設となります。

ショールームでは、製品のご紹介とともに、実際に吸着テストを実施し、当社の豊富な真空吸着ノウハウを活かしたソリューションセンターとして、お客様の問題解決策をご提案いたします。



トピックス5 新製品ご紹介

金属検出機用吸着パッド「SM」シリーズ



従来のシリコン素材に、金属成分を配合した吸着パッド「SM (Silicone Metal)」シリーズの販売を開始いたしました。

本製品は、吸着パッドに金属成分を配合することで、食品工場等の製造工程に設置してある金属検出機で、吸着パッドの破片等を検知することができ、お客様の製造工程での異物混入によるトラブルを防止いたします。

高耐久性ECOパッド「PK2」シリーズ



本製品は、従来の吸着パッドと異なる材料である、熱可塑性ポリウレタンエラストマーを使用した吸着パッドです。

従来の材料と比較し、耐摩耗性に優れた材料を使用することにより、耐久性が向上し、お客様の交換作業工数とランニングコストを大幅に削減いたします。

自動車業界、鋼板の吸着搬送に最適な吸着パッドです。

(2015年12月31日現在)

連結貸借対照表

(単位：千円)

科目	第64期	第65期
	2014年12月31日現在	2015年12月31日現在
資産の部		
流動資産	1,735,814	1,890,308
固定資産	2,286,146	2,235,508
資産合計	4,021,961	4,125,817
負債の部		
流動負債	322,108	254,192
固定負債	125,255	150,220
負債合計	447,363	404,413
純資産の部		
株主資本	3,443,437	3,591,146
その他の包括利益累計額	109,439	111,931
新株予約権	11,734	8,938
少数株主持分	9,985	9,387
純資産合計	3,574,597	3,721,404
負債及び純資産合計	4,021,961	4,125,817

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科目	第64期	第65期
	2014年1月1日～ 2014年12月31日	2015年1月1日～ 2015年12月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	282,034	318,745
投資活動によるキャッシュ・フロー	△278,984	△98,025
財務活動によるキャッシュ・フロー	△84,525	△99,617
現金及び現金同等物に係る換算差額	13,249	△10,159
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△68,227	110,942
現金及び現金同等物の期首残高	693,189	624,962
現金及び現金同等物の期末残高	624,962	735,905

連結損益計算書

(単位：千円)

科目	第64期	第65期
	2014年1月1日～ 2014年12月31日	2015年1月1日～ 2015年12月31日
売上高	2,370,975	2,444,725
売上総利益	1,338,482	1,490,398
営業利益	374,908	435,552
経常利益	405,167	446,728
税金等調整前当期純利益	406,484	350,250
少数株主損益調整前当期純利益	238,209	245,972
少数株主利益	3,363	1,453
当期純利益	234,845	244,518

連結包括利益計算書

(単位：千円)

科目	第64期	第65期
	2014年1月1日～ 2014年12月31日	2015年1月1日～ 2015年12月31日
少数株主損益調整前当期純利益	238,209	245,972
その他の包括利益：		
その他有価証券評価差額金	2,060	25,917
為替換算調整勘定	38,067	△24,383
その他の包括利益合計	40,127	1,533
包括利益	278,337	247,505
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	273,880	247,010
少数株主に係る包括利益	4,456	494

会社概要

社名	株式会社 妙徳
創立（設立）	1951年4月16日
資本金	7億4,812万5千円
本社所在地	〒146-0092 東京都大田区下丸子2丁目6番18号 TEL：03-3759-1491（代表）
国内事業所	岩手、東京、大阪、名古屋、福岡
連結子会社	妙徳空覇陸機械設備(上海)有限公司 妙徳韓国株式会社 コンバム（タイランド）株式会社
従業員数	112名（連結従業員数）
上場証券取引所	東京証券取引所JASDAQ市場
会計監査人	有限責任監査法人トーマツ

役員の状況 (2016年3月30日現在)

代表取締役社長	伊勢 幸治
専務取締役	角野 充彦
常務取締役	庄瀬 元洋
取締役	佐藤 穰
取締役	泉 陽一
取締役	岩元 武継 *
取締役	平野 実 *
常勤監査役	小畑 光伸
監査役	松本 博之 *
監査役	川野上 一春 *

*印は、それぞれ社外取締役、社外監査役です。

株式の情報

発行可能株式総数	発行済株式総数	株主数
33,000,000株	8,285,000株 (その内自己株式 984,613株)	1,276名 (前期末比 32名増)

大株主（上位10名）

株主名	持株数（株）	持株比率（%）
伊勢 養治	1,365,825	18.71
伊勢 すが子	630,100	8.63
伊勢 幸治	412,050	5.64
妙徳従業員持株会	242,250	3.32
中森 俊雄	220,000	3.01
株式会社日伝	140,000	1.92
神谷 信一	128,000	1.75
伊勢 三郎	126,500	1.73
泉 真紀	122,500	1.68
丸三証券株式会社	90,000	1.23

*持株比率は、自己株式（984,613株）を控除して計算しています。

株価チャート

